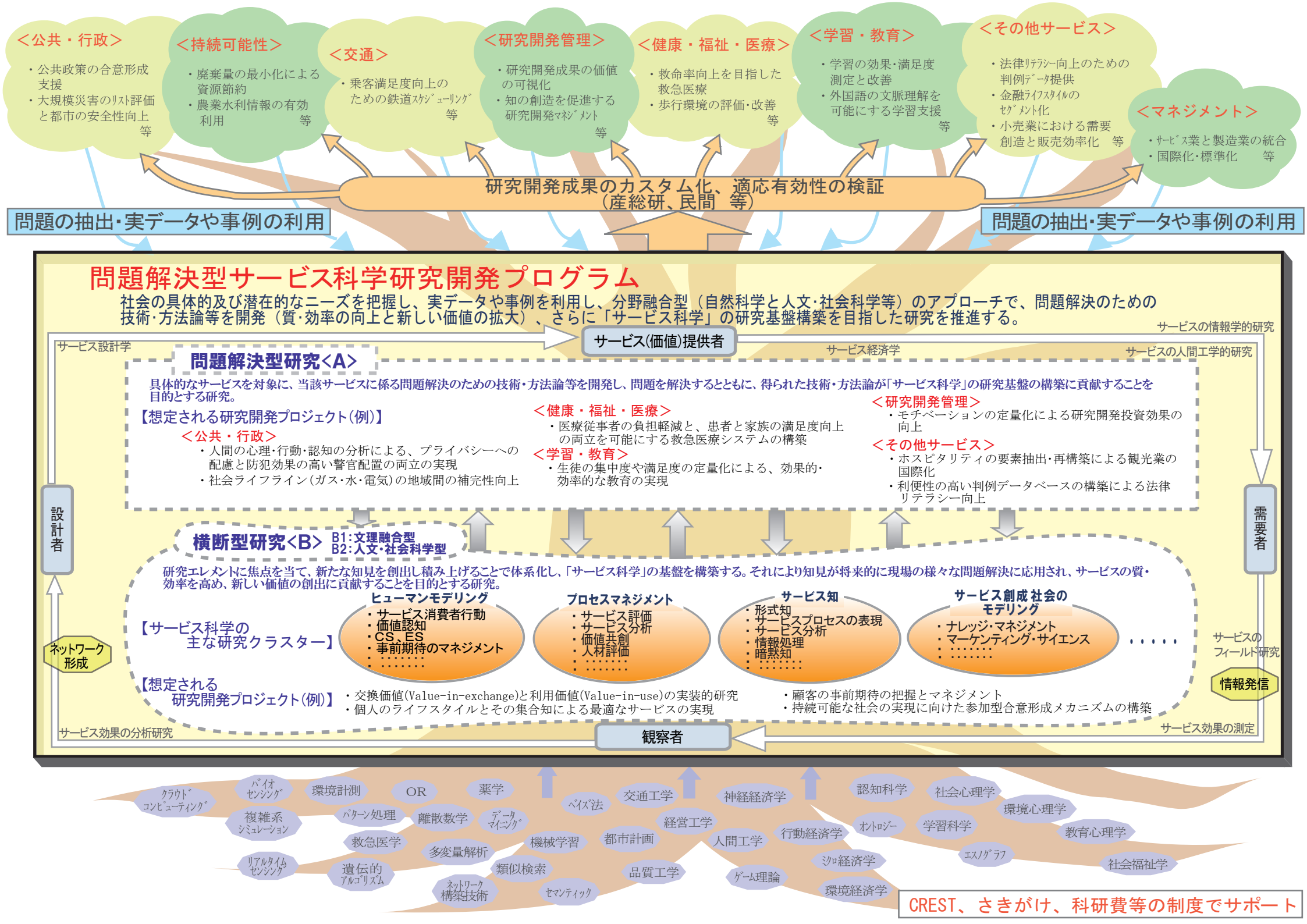
＜公共・行政＞
・公共政策の合意形成支援
・大規模災害のﾘｽﾄ評価と都市の安全性向上 等
＜持続可能性＞
・廃棄量の最小化による資源節約
・農業水利情報の有効利用 等
＜交通＞
・乗客満足度向上のための鉄道ｽｹｼﾞｭｰﾘﾝｸﾞ 等
＜研究開発管理＞
・研究開発成果の価値の可視化
・知の創造を促進する研究開発ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 等
＜健康・福祉・医療＞
・救命率向上を目指した救急医療
・歩行環境の評価・改善 等
＜学習・教育＞
・学習の効果・満足度測定と改善
・外国語の文脈理解を可能にする学習支援 等
＜その他サービス＞
・法律ﾘﾃﾗｼｰ向上のための判例ﾃﾞｰﾀ提供
・金融ﾗｲﾌｽﾀｲﾙのｾｸﾞﾒﾝﾄ化
・小売業における需要創造と販売効率化 等
＜マネジメント＞
・ｻｰﾋﾞｽ業と製造業の統合
・国際化・標準化 等
研究開発成果のカスタム化、適応有効性の検証
（産総研、民間 等）
問題の抽出・実データや事例の利用
問題の抽出・実データや事例の利用
問題解決型サービス科学研究開発プログラム
社会の具体的及び潜在的なニーズを把握し、実データや事例を利用し、分野融合型（自然科学と人文・社会科学等）のアプローチで、問題解決のための技術・方法論等を開発（質・効率の向上と新しい価値の拡大）、さらに「サービス科学」の研究基盤構築を目指した研究を推進する。
サービスの情報学的研究
サービス設計学
サービス(価値)提供者
サービス経済学
サービスの人間工学的研究
問題解決型研究<A>
具体的なサービスを対象に、当該サービスに係る問題解決のための技術・方法論等を開発し、問題を解決するとともに、得られた技術・方法論が「サービス科学」の研究基盤の構築に貢献することを目的とする研究。
【想定される研究開発プロジェクト(例)】
＜公共・行政＞
・人間の心理・行動・認知の分析による、プライバシーへの配慮と防犯効果の高い警官配置の両立の実現
・社会ライフライン(ガス・水・電気)の地域間の補完性向上
＜健康・福祉・医療＞
・医療従事者の負担軽減と、患者と家族の満足度向上の両立を可能にする救急医療システムの構築
＜学習・教育＞
・生徒の集中度や満足度の定量化による、効果的・効率的な教育の実現
＜研究開発管理＞
・モチベーションの定量化による研究開発投資効果の向上
＜その他サービス＞
・ホスピタリティの要素抽出・再構築による観光業の国際化
・利便性の高い判例データベースの構築による法律リテラシー向上
設計者
需要者
横断型研究<B> B1:文理融合型 B2:人文・社会科学型
研究エレメントに焦点を当て、新たな知見を創出し積み上げることで体系化し、「サービス科学」の基盤を構築する。それにより知見が将来的に現場の様々な問題解決に応用され、サービスの質・効率を高め、新しい価値の創出に貢献することを目的とする研究。
【サービス科学の主な研究クラスター】
ヒューマンモデリング
・サービス消費者行動
・価値認知
・CS、ES
・事前期待のマネジメント
プロセスマネジメント
・サービス評価
・サービス分析
・価値共創
・人材評価
サービス知
・形式知
・サービスプロセスの表現
・サービス分析
・情報処理
・暗黙知
サービス創成 社会のモデリング
・ナレッジ・マネジメント
・マーケンティング・サイエンス
ネットワーク形成
サービスのフィールド研究
情報発信
【想定される研究開発プロジェクト(例)】
・交換価値(Value-in-exchange)と利用価値(Value-in-use)の実装的研究
・個人のライフスタイルとその集合知による最適なサービスの実現
・顧客の事前期待の把握とマネジメント
・持続可能な社会の実現に向けた参加型合意形成メカニズムの構築
サービス効果の分析研究
観察者
サービス効果の測定
クラウドコンピューティング
バイオセンシング
環境計測
OR
薬学
ベイズ法
交通工学
神経経済学
認知科学
社会心理学
環境心理学
教育心理学
社会福祉学
エスノグラフ
学習科学
オントロジー
行動経済学
ミクロ経済学
環境経済学
ゲーム理論
人間工学
経営工学
都市計画
品質工学
機械学習
データマイニング
パターン処理
離散数学
複雑系シミュレーション
救急医学
多変量解析
類似検索
セマンティック
ネットワーク構築技術
遺伝的アルゴリズム
リアルタイムセンシング
CREST、さきがけ、科研費等の制度でサポート